



新館清掃工場 建設ニュース

第4号
平成28年8月

発行：八王子市資源循環部
清掃施設整備課
電話：042-620-7461
FAX：042-626-4506
✉ b481000@city.hachioji.tokyo.jp

新館清掃施設整備基本設計を策定しました

平成27年度清掃施設整備に対する意見交換の場として、新館清掃工場基本設計検討懇談会を開催し、意見をいただき、反映いたしました。内容について下記のとおりとなります。

基本方針

- ◆ 安全・安心を確保し、安定した処理を継続できる施設
- ◆ 周辺環境に配慮し、市民に親しまれる施設
- ◆ 廃棄物の有効利用により、循環型・低炭素社会に寄与する施設
- ◆ 災害時に頼れる施設
- ◆ 経済性に優れた施設



新館清掃工場基本設計検討懇談会開催風景

主な内容

1. 事業方式

公設公営方式と公設民営（DBO）方式を比較した結果、DBO方式が優位となりました。清掃工場建設には多額の財政負担を要するので、今後の社会情勢や本市の財政状況を考慮して、更なる検討を行います。

2. 施設規模

本市の新しい人口ビジョンの公表により、従来よりも低い推計人口となり、施設規模を168t/日に見直しました。

3. 公害防止

燃焼排ガスの自主基準値をまとめました。【 】内は国基準値

- ばいじん濃度 (g/m³N)・・・0.01 以下 【0.08 以下】
- 塩化水素濃度 (ppm)・・・15 以下※1 【430 以下】
- 硫黄酸化物濃度 (ppm)・・・10 以下 【約 2,400 以下】
- 窒素酸化物濃度 (ppm)・・・50 以下 【250 以下】
- ダイオキシン類濃度・・・0.1 以下 【0.1 以下】
(ng・TEQ/m³N)

※1 自主基準値は 15ppm 以下としますが、10ppm を超えない運転を行っていきます。



平成28年6月 煙突(100m)からの眺め

4. ごみ処理方式

安全で安定した処理方式を基本とし、今後の技術動向を見据え、本市の廃棄物処理の実情に則したごみ処理方式を総合的に判断します。

5. 見学者対応

小学生の学校関係など最大で150人程度の受け入れを想定し、環境全般の教育・啓発を行います。また、公害監視盤の設置により、近隣住民の皆様積極的に情報を公表します。

6. 余熱利用計画

廃熱ボイラで回収した余熱を積極的に発電し、電力会社等へ売却します。

余熱利用施設はコミュニティ施設を施設内に整備します。具体的な内容については、地元住民の皆様と意見交換しながら検討します。



地元運営協議会による先進工場の視察

★新館清掃施設整備基本設計につきましては、本市ホームページで公開中です。

URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/48462/index.html>



工事着手から8か月がたちました

解体工事の進捗状況

平成27年10月末の工事着手から8か月が経過し、工場棟の一部解体、工場棟内の除染作業が完了し、現在は煙突を解体するための準備作業をおこなっております。

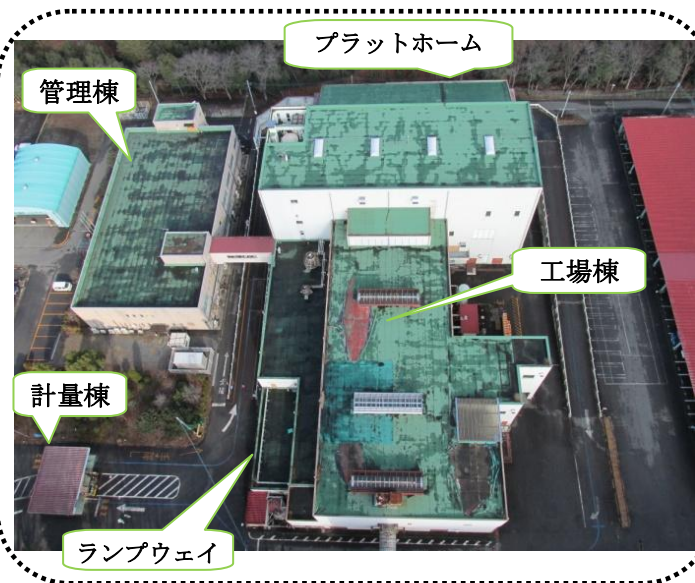
工場棟北側の
プラットフォームを解体しました

プラットフォームとは
ごみの搬入車が、ごみをごみピット（ごみを一時的に貯留するための場所）に投入するためのスペース



平成27年10月

平成28年6月



平成27年10月

平成28年5月

平成28年6月



煙突の解体準備が
進んでいます



工事着手時からの施工状況等、詳細につきましては、本市ホームページで公開中です。

URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/48462/index.html>